

17 魅力ある観光の振興			
主管課名	生活文化スポーツ部 産業振興課		
主管課長名	石坂 知之	電話番号	042-481-7179
関係課名 (組織順)	広報課, 文化生涯学習課, 環境政策課, 緑と公園課, 都市計画課, 図書館, 郷土博物館		
目的	対象	市民, 来訪者	
	意図	市民がまちに愛着と誇りを持つ, 多くの来街者が市内を回遊する	
施策の方向	地域資源の魅力の向上と積極的な活用により, 市民がまちに愛着と誇りを持ち, 多くの来訪者からも訪れたいと思われる, にぎわいのあるまちづくりを進めます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



## 1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
(17-1 「映画のまち調布」の推進)	<p>・市長会の補助金を活用して, 民間事業者や狛江市・日の出町と連携した官民一体のロケツーリズム施策を展開したほか, 新型コロナウイルスの感染防止策を徹底した中でフィルムコミッション事業を推進し, 例年と同程度の撮影実績を残すことができた。また, 観光庁の補助金を活用して, 調布市を舞台に撮影された映画「花束みたいな恋をした」やこれまでのドラマ等の撮影実績を生かした新たなロケツーリズムコンテンツの制作に取り組んだ。</p> <p>・調布市を拠点として活動を行ってきた石原プロモーションの解散を受け, 石原プロモーション制作のドラマや映画・音楽に関連した展示・グッズの販売等を行い, 「映画のまち調布」の推進につなげた。</p>
①横断的連携による施策の推進	<p>■連携テーマ2「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映画・映像関連企業や団体との連携による「映画のまち調布」を推進した。</li> <li>・近隣自治体や民間事業者等との連携によるロケツーリズムに取り組んだ。</li> </ul>
②調布のまちの魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響下においても, 2つの撮影所をはじめ, 40社以上の映画・映像関連企業が集積する「映画のまち調布」をPRするとともに, 感染拡大防止策を講じた上での積極的なフィルムコミッションの取組によるロケツーリズムを推進した。</li> </ul>
(17-2 地域資源を活用したにぎわいの創出)	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光振興施策の推進が困難な状況であったが, 創意工夫を講じて実施可能な事業について, 感染防止策を徹底して取り組んだほか, 観光振興の中心的な役割を担う調布市観光協会をはじめ, 多様な主体と連携し, 次年度以降の施策展開も視野に入れながら, 観光振興に資する取組を推進した。</p> <p>・名誉市民水木しげるさんの御功績を称え, 広く市民と偲ぶ取組である「ゲゲゲの鬼屋」を, 水木プロダクションや東映アニメーション等と連携して開催し, 「水木マンガの生まれた街 調布」の推進を図った。会場である調布駅前広場をイベントエリアで分割し, 各エリア入口での検温・手指消毒, 人数把握など, 感染防止対策を徹底して実施した。</p>
①横断的連携による施策の推進	<p>■連携テーマ2「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水木プロダクション, 東映アニメーション, イオンシネマ シアタス調布等と連携し, 水木しげる氏生誕100周年を見据えた「水木マンガの生まれた街 調布」を推進した。</li> </ul>
②調布のまちの魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン配信の活用や, 各種関連企業と連携したSNS等の広告媒体を活用した情報発信により, 新型コロナウイルス感染症の影響下においても, 「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」など, 地域資源を活用した調布のまちのPRにつなげた。</li> </ul>
(17-3 多様な主体と連携した観光事業の推進)	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光振興施策の推進が困難な状況であったが, 創意工夫を講じて実施可能な事業について, 感染防止策を徹底して取り組んだほか, 観光振興の中心的な役割を担う観光協会をはじめ, 多様な主体と連携し, 次年度以降の施策展開も視野に入れながら, 観光振興に資する取組を推進した。</p>
①横断的連携による施策の推進	<p>■連携テーマ2「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会との連携を中心に, 深大寺をはじめとする寺社仏閣や, 京王電鉄を核とした沿線他市との連携, 東京観光財団の協力によるオンラインツアーの実施など, 既存の観光事業の出来る限りの継続に努める中で, 多様な主体と連携した新たな事業にも取り組んだ。</li> </ul>
②調布のまちの魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により, 発信機会は減少したが, 観光協会の公式ホームページや市のホーム</li> </ul>

ページをはじめ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる情報発信を行った。

### <令和2年度における施策の成果についての総括>

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光振興施策の推進が困難な状況であったが、多くの事業が中止となる中、創意工夫や感染防止策の徹底をしながら、実施可能な事業に取り組んだほか、観光振興の中心的な役割を担う調布市観光協会をはじめ、多様な主体と連携し、次年度以降の施策展開も視野に入れながら、観光振興に資する取組を推進し、にぎわいの創出に努めた。

「映画のまち調布」の推進では、観光庁の補助金を活用した新たなロケツーリズムコンテンツの制作に取り組んだほか、引き続き、他自治体と連携したフィルムコミッション事業によるロケツーリズムの推進に取り組んだ。また、今年度独自の取組として、昭和48年から調布市に拠点を移し、活動を続けてきた石原プロモーションが令和3年1月16日に解散したことを受けて、感謝の思いを込め、石原プロモーション制作のドラマや映画・音楽に関連した展示、グッズの販売等を行った。

「水木マンガの生まれた街 調布」の推進については、名誉市民水木しげるさんの御功績を称え、広く市民と関係する取組である「ゲゲゲ」を、感染防止策を徹底した上で、水木プロダクションや東映アニメーション等と連携して開催した。

その他にも、オンライン配信の活用や、各種関連企業と連携したSNS等の広告媒体を活用した情報発信により、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」など、地域資源を活用した調布のまちのPRにつなげたほか、観光協会との連携を中心に、深大寺をはじめとする寺社仏閣や、京王電鉄を核とした沿線他市との連携、東京観光財団の協力によるオンラインツアーの実施など、既存の観光事業の出来る限りの継続に努める中で、新たな事業にも取り組んだ。

今後に向けては、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極め、既存のコンテンツの磨き上げや新しい生活様式に対応したオンラインを活用した事業展開など、観光協会をはじめとする多様な主体と連携して、創意工夫を施した事業展開を図り、調布の観光PRにつながる取組の推進による観光産業の回復・にぎわいの創出に努めていくことが必要である。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値 令和4年度
			令和元年度	令和2年度	
1 「映画のまち調布（映画・映像を"つくる・楽しむ・学ぶ"まち）」を進める取組に満足している市民の割合	69.0 (H30)	%	75.7	78.2	75.0
2 観光案内所への来所者数	8万 1,815 (H29)	人	9万 8,579	2万 8,683	10万
3 調布市観光協会発信のSNSのフォロワー数	6,005 (H30)	人	7,000	7,600	1万
【特記事項】					

## 2 令和2年度の振り返り — 評価 (CHECK)

### ◆施策の成果向上に向けて、令和2年度に実施した取組に対する評価

※コロナ禍を踏まえたプロセス、実績、成果の総合的な評価

総合評価	A	S:「実施した取組において顕著な成果が得られた。」 A:「実施した取組において予定した成果が得られた。」 B:「実施した取組において一定程度の成果が得られた。」 C:「実施した取組において予定した成果が得られなかった。」 D:「実施した取組において成果が得られなかった。」
評価理由	・観光産業が新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、観光振興事業の実施を見送り、施策展開が困難な自治体が多かったが、調布市においては、創意工夫を講じて実施可能な事業について、感染防止策を徹底して取り組み、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」など、地域資源を活用した調布のまちのPRにつなげることができた点は、大きく評価できる。	

### 3 施策の方向 — (ACTION)

#### ◆コロナ禍の影響等を踏まえた現基本計画期間内(令和4年度まで)における施策の主な課題と取組の方向

・左欄と右欄において、丸数字で対になるよう記載

主な課題	取組の方向
①新型コロナウイルス感染症の影響下における観光協会と連携した地域資源の活用を踏まえた観光振興施策の展開	①新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極め、既存のコンテンツの磨き上げや新しい生活様式に対応したオンラインを活用した事業展開など、観光協会をはじめとする多様な主体と連携して、創意工夫を施した事業展開を図り、調布の観光PRにつながる取組の推進による観光産業の回復・にぎわいの創出に努めていく。
②「水木しげる生誕100周年記念プロジェクト」への市としての関わり方	②「水木しげる生誕100周年記念プロジェクト」について、水木プロダクションをはじめとする多様な主体と連携しながら取り組み、作品や著作などの御功績を後世に伝えつつ、まちづくりに生かしていく方策について、多角的に検討していく。

#### ◆デジタル技術を活用した利便性向上や事務の効率化に向けた今後の取組 (オンライン活用, ペーパーレス化, 電子申請による手続など)

※重点プロジェクトに関連する取組(★印), 新規の取組(●印), 拡充の検討を要する取組(○印), 左記以外の取組(・印)

・オンライン配信を活用した新たな生活様式におけるイベントの開催

### 4 次期総合計画期間を含む中長期的な施策の方向(2030年代を見据えた方向)

#### ◆施策を取り巻く状況(国, 東京都・近隣自治体の動向など)を踏まえた取組の方向

※法改正・制度改正などに加えて、「フェーズフリー」、「スマートシティ」など多角的な視点も含めた状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流・傾向等	<p>①国連世界観光機関(世界観光指標2021年5月号) 2021年第1四半期の国際観光客到着数は、広範な観光を目的とする渡航に対する制限が引き続き実施されたことから、83%減少した。世界の国・地域は、前年同期と比較し、1億8000万人の減少となった。アジア・太平洋は、3か月間で94%、ヨーロッパは83%、アフリカは81%、中東は78%、米州は71%の減少となった。これは、過去最悪の年となった2020年に、全世界の国際観光客到着数が73%減少したことを受けたものである。</p> <p>新型コロナウイルス感染症のパンデミックによる2020年の経済損失としては、国際観光収入の実質で64%減少し、9000億米ドル以上の下落に相当する。</p> <p>②観光庁「観光ビジョン実現プログラム2020」 (1) 国内の観光需要の回復と観光関連産業の体質強化 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要が大幅に減少し、観光関連産業に深刻な影響が生じている。このため、まずは雇用の維持・事業の継続の支援に注力するとともに、反転攻勢に転じるための基盤を整備し、感染の状況等を見極めつつ、強力な国内需要の喚起策を講じ、国内観光の回復を図る。その上で、国・地域ごとの感染収束を見極め、誘客可能となった国等からインバウンドの回復を図る。</p> <p>(2) インバウンド促進に向け引き続き取り組む施策 国内外の感染症の状況を十分に見極めつつ、インバウンドの再開に備え、これまで進めてきた受入環境整備や新たなコンテンツづくりに引き続き戦略的に取り組む。</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響により、冷え込んだ観光産業を支え、回復するための支援策を構築する。</p> <p>②③新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極め、Wi-Fi環境の整備や観光案内の多言語対応など、観光客の受入れ環境の整備のほか、観光産業の回復に向け、効果的な観光振興施策を構築する。また、回復期に向け、継続的にコンテンツの磨き上げを行うとともに、アニメやロケを活用した新たなツーリズムの展開を図っていく。</p>

東京都や近隣自治体の動向等	<p>③東京都「未来の東京」戦略ビジョン（令和元年12月策定）</p> <p>(1) 戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略 「オールジャパンでの戦略的な観光振興プロジェクト」の中で、「東京と日本各地がWin-Winとなるようなオールジャパンでの広域的・戦略的な観光振興」、「官民一体のオール東京による観光振興の推進」を掲げ、訪都外国人旅行者数3000万人超を目指すとともに、「体験・まち歩きスマート観光プロジェクトや「魅力ある観光コンテンツ創出プロジェクト」により、誰もがストレスなく観光を楽しめる環境の実現や訪都外国人旅行者による消費額2.7兆円超、国際会議開催件数世界3位以内を目指す。</p>	
その他	<p>④深大寺は2033年に開創1300年を迎える。</p>	<p>④深大寺開創1300年を見据え、関連する団体等と連携し、深大寺をはじめとした周辺地域の魅力発信を図っていく。</p>

17 魅力ある観光の振興

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	事務事業の概要
1	「映画のまち調布」の推進	④	●	産業振興課	市内の映画・映像関連企業や市民団体との連携を図りながら、フィルムコミッション事業や世代に合わせた各種映画関連イベントの実施により、広く市民に“映画”に親しんでもらうとともに、映画産業の活性化と観光振興を図る。 映画関連企業の映画・映像に関する取組の情報発信を行い、「映画のまち調布」のPRに取り組む。
2	調布市観光協会事業の促進		●	産業振興課	市民がまちの魅力に愛着と誇りを持つとともに、来訪者が回避し、再び訪れたいと思われるような観光振興を目的として、次の事業を行う。 ①調布市観光協会が行う観光イベントを支援する。 ②深大寺をはじめとした特色ある地域資源を活かした観光事業の推進を支援する。 ③調布市観光協会が行う観光資源に関する情報発信などの活動を支援する。

17 魅力ある観光の振興

※各事務事業の概要については、巻末の「⑦事務事業概要一覧」をご参照ください。

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	R2決算事業費(千円)	令和2年度の取組実績	実績評価	進捗状況・今後の取組の方向													
								R2取組実績				方向						今後の取組内容 (新型コロナウイルス感染症の影響に関連する内容は冒頭に◆印を記載しています)			
								計画前倒し	計画どおり	計画遅れ	コロナ影響	有効性改善	効率性改善	財政面改善	参加と協働改善	現状継続					
1	「映画のまち調布」の推進	④	●	産業振興課	33,401	新型コロナウイルス感染症の影響下ではあったが、映画音響についてのトークショー付き上映会や親子で参加する上映会など、世代に合わせた様々なイベントを実施し、映画・映像を「つくる」・「楽しむ」・「学ぶ」をテーマとした「映画のまち調布」の推進を図った。また、調布市を拠点として活動を続けてきた石原プロモーションが令和3年1月に解散したことを受け、石原プロモーション制作のドラマや映画・音楽に関連した展示、グッズの販売等を行った。 ロケツーリズムについては、例年のロケツーリズム事業の展開に加え、観光庁の補助金を活用した新たなロケツーリズムコンテンツを造成（調布市PR映像の制作・ロケ地観光パネルの設置・謎解きイベントの実施等）したほか、フィルムコミッションとしては、感染防止策を徹底し、積極的なロケ支援に努め、地域の魅力向上につなげることができた（撮影実績は、前年度比9件減で124件）。	◎			●	●	●									映画・映像を「つくる」・「楽しむ」・「学ぶ」をテーマとして、世代に合わせた様々なイベントの展開や、「映画のまち調布」応援キャラクター「ガチャラ」を活用したPRに取り組み、市内の映画・映像関連企業や市民団体と積極的に連携することで、「映画のまち調布」の推進を図る。 4年目となるロケツーリズム事業では、映画・映像関連企業との連携を強化し、調布市で撮影されたドラマや映画を活用した、より効果的な調布の魅力発信につなげる。 ◆新型コロナウイルス感染症の状況を見極め、既存の取組の創意工夫による磨き上げや新しい生活様式に対応した新規コンテンツの造成に努めるとともに、市内の映画・映像関連企業や市民団体と積極的に連携して施策の展開を図ることで、観光振興はもとより、地域経済の回復・活性化につなげていく。
2	調布市観光協会事業の促進		●	産業振興課	25,112	新型コロナウイルス感染症の影響により、観光協会が実施する一部の事業も中止や規模縮小を余儀なくされたが、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の推進といった、市が基本計画に掲げる取組を積極的に支援し、市の施策と連動して、観光振興を図ることができた。また、京王線国領駅と西調布駅の列車接近メロディーの導入、姉妹都市盟約35周年を迎えた木島平村との交流事業における花火の打上げ（会場は木島平村）、調布駅を中心とした無料Wi-Fiの設置や深大寺に設置しているWi-Fiのセキュリティ強化など、様々な観光振興事業を支援することで、調布のまちの魅力向上につなげた。	◎			●	●						●	市の観光振興の促進を目的として、SNSを活用した調布の魅力発信、古刹・深大寺を核とする観光事業、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の推進といった、市が基本計画に掲げる取組を継続的に支援し、連携して取り組んでいく。また、調布ならではの特色ある取組についても支援し、にぎわいの回復につなげていく。 特に、「水木マンガの生まれた街 調布」の推進については、水木プロダクションをはじめとする多様な主体と連携しながら、令和4年の水木しげる氏生誕100周年の節目を見据え、作品や著作、文献などの御功績を後世に伝えつつ、まちづくりに生かしていく方を多角的に検討していく。 ◆既存のコンテンツの磨き上げや新しい生活様式に対応した新規コンテンツの造成について、観光協会と連携して取り組み、観光産業の回復・活性化につなげていく。			
								0	0	2	2	1	0	0	0	0	1	計			
								0.0	0.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	割合(%)			

当該施策に体系付けられている全ての事務事業については、巻末に掲載している参考資料「⑥事務事業一覧（施策体系順）」をご参照ください。